

教科・科目	商業・簿記	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	4	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	簿記に関する知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解するとともに、企業会計に関する法規や基準に従った会計処理を行うことができる。
使用教科書・副教材等	簿記 新訂版(東京法令出版)

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	企業における取引の記録・計算・整理について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を把握する実践的な態度を身に付けようとしている。	観察 レポート	25%
b. 思考・判断・表現	企業における取引の記録・計算・整理に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適正に判断し、表現している。	観察 レポート 試験	25%
c. 技能	企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理し、その成果を的確に表現する技能を身に付けている。	観察 レポート 試験	25%
d. 知識・理解	企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、簿記の基本的な仕組みについて理解している。	観察 レポート 試験	25%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① 簿記の基礎	企業における簿記の仕組みについて関心を持ち、知識の習得を目指して意欲的に取り組もうとしている。	○			
	② 資産・負債・純資産・貸借対照表	資産・負債・純資産・貸借対照表・当期純損益について理解し、貸借対照表を作成することができる。			○	
	③ 収益・費用・損益計算書・仕訳	収益と費用について理解し、損益計算書を作成することができる。簿記上の取引について適正に判断することができる。		○		
	④ 総勘定元帳と試算表	総勘定元帳を作成し試算表に転記することで、帳簿作成時の誤りを発見する手法を理解することができる。				○
	⑤	この回は実施されません				
	⑥ 決算	決算を行う上で必要な手続きに関する知識を身に付け、決算処理と精算表の作成方法を理解することができる。				○
	⑦ 学習のまとめ	ここまでの学習内容を活用し、問題演習を通じて、習得した技術を活用し考察することができる。		○		
後期	⑧ 3分法の整理・貸し倒れの見積もり	3分法や貸し倒れの仕入れ・売り上げ・貸し倒れ処理の知識を意欲的に習得しようとする。	○			
	⑨ 減価償却・現金過不足・引出金の整理	減価償却費(直接法)・現金過不足・引出金の整理方法の技術を意欲的に習得しようとする。	○			
	⑩	この回は実施されません				
	⑪ 決算整理仕訳と8桁精算表	決算を行う上で必要な決算整理仕訳を行い、8桁精算表の作成方法を理解することができる。				○
	⑫ 決算整理仕訳と損益計算書	決算を行う上で必要な決算整理仕訳を行い、損益計算書を作成することができる。			○	
	⑬ 決算整理仕訳と貸借対照表	決算を行う上で必要な決算整理仕訳を行い、貸借対象表を作成することができる。			○	
	⑭ 学習のまとめ	ここまでの学習内容を活用し、問題演習を通じて、習得した技術を活用し考察することができる。		○		

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 簿記の基礎	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② 資産・負債・純資産・貸借対照表	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③ 収益・費用・損益計算書・仕訳	前3	1 3	2 4	5/28	-	5/30	5/25	
	④ 総勘定元帳と試算表	前4	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤	この回は実施されません							
	⑥ 決算	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ 学習のまとめ	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ 3分法の整理・貸し倒れの見積もり	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ 減価償却・現金過不足・引出金の整理	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩	この回は実施されません							
	⑪ 決算整理仕訳と8桁精算表	後3	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫ 決算整理仕訳と損益計算書	後4	1 3	2 4	12/3	-	12/5	11/30	
	⑬ 決算整理仕訳と貸借対照表	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ 学習のまとめ	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18

【先生からのメッセージ】

簿記は、商店や会社などの財産の増減変化を記録・計算・整理するための記帳技術を学ぶ科目です。事務系の仕事に興味がある人、簿記検定の取得に関心がある人は積極的に履修してください。簿記に関する質問は、教科別質問教室等を利用し、理解が不十分なところは補いましょう。また、簿記・会計分野に関する財務諸表を作成するため電卓(できれば12桁のもの)が必要になります。スクーリングが始まる前に準備をしてください。